

平成26年度 市野与進保育園事業報告

平成26年度は開園して8年になることから、「魅力ある保育園づくり」を基本とし、保護者支援・子どもの育ちを大切にすることを基本に考えて事業を行ってきました

- ① 保育と保育士の質の向上
- ② 保育内容が見える保育園
・「伝えよう保育内容」5W1Hを使って、保育のプロセスを伝える。
- ③ 東区における待機児童を持つ保護者支援・・・タッキークラブ
- ④ 職員の危機管理研修

継続課題として

- ① 保育と保育士の質の向上
- ② 中長期計画策定委員会の設定をし、職員全員で考え策定する
- ③ OJT・プリセクターの計画表作成
- ④ 職務の記録の取り方と簡素化見直し
- ⑤ 子ども・子育て支援法に基づき、保育園がどのように変化し、また どのような変化をしなければいけないのか
- ⑥ 子どもの安全を守るためにリスクマネジャーを養成し、リスクマネジャーから各職員への教育・組織づくりを徹底する。
内閣府令第39号「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の中の市町村が運営基準を条例化しなければいけない中の第32条「特定教育・保育施設は、事故発生またはその再発を防止する措置を講じる
この点を踏まえて職員の危機管理に対する意識向上
- ⑦ 地域への子育て支援メニューを充実する

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|-----------------------|---|---|---|
| <p>・保育指針に沿った保育の実践</p> | <p>・保育指針を十分に理解し、保育指針に沿った担当業務の在り方を把握したうえで、実践し、振り返りを行う。</p> <p>・子どもの育ちを支える保育</p> <p>・各担当組織、職員個々が目標を持って行動し、担当組織や自分の担当業務の振り返りを行う。</p> <p>(目標による管理)</p> <p>・子どもの安全を守るためにリスクマネジャーを養成し、リスクマネジャーから各職員への教育を徹底する。</p> | <p>★家庭的な雰囲気の中で「挑戦する意欲」「体験する楽しさ」を育てる。(人と関わる力・学ぶ力を育てる)</p> <p>★情緒の安定を図り、5感を大切にしながら、子どもの遊びを大切に保育</p> <p>★保育指針を踏まえての「保育園での教育とは」</p> <p>★保育士主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ</p> <p>・遊びの中から「見る」「真似」からくる「体験」「意欲」「学ぶ」保育(生きる力)を考える。</p> <p>テーマ ・学びの芽生えを大切に</p> <p>0歳児・・・赤ちゃん体操を通して情緒の安定を図る</p> <p>1歳児・・・「保育園大好き・先生大好き」</p> <p>2歳児・・・「発達にあった造形遊び。表現を楽しむ」</p> <p>3歳児・・・「体を動かすことの心地よさや充実感を味わう」</p> <p>4歳児・・・「何にでも挑戦する子を育てる」</p> <p>5歳児・・・「何にでも挑戦する子を育てる」</p> <p>フリー・・・「野菜作りから見えた子どものつづやき」</p> <p>給食・・・「子供たちとクッキングを楽しもう」</p> <p>★「食育」</p> <p>季節の食べ物を知り、畑で採れた食材で料理する楽しさを知る。食文化の伝承</p> <p>異世代交流を通して地域人たちとのつながりを大切に</p> <p>★職員の危機管理研修・経営協危機管理研修</p> | <p>平成25・26年度と2回にわたり鯨岡先生のエピソード記述の講演を聴き、26年度は、1か月に2回保育の質向上させるためのエピソード自主研修を実施。その結果として第1点 エピソード記述にとらわれ、「エピソードをうまく書く」ことにこだわってしまったこと。2点目は鯨岡先生の<u>子どもの主体性を大切に、ありのままを受け入れる</u>ということを間違ったらえ方をししまい、子どもに振り回されてしまったこと。第3点目は保育園の職員構成の中に正規・非常勤があり、正規職員を中心に保育を進めている現状が浮き彫りになってきた。実際に保護者・子どもからの目線に立てば、保育士に変わりはなく、職員として同じ意識・考え方で保育をする必要があると反省をする。</p> |

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|----------------------------------|--|---|--|
| <p>・国、市の方針、 環境変化に応じた園の経営</p> | <p>・国の「子ども・子育て新システム」、市の保育政策等への適合をはかる。</p> <p>・地域の利用者ニーズへ対応する。</p> <p>・保育所担当行政をはじめ関係機関との連携を深める。</p> <p>・認定こども園となることを前提にして、その実現のための検討をする</p> | <p>★幼保連携型「こども園」に向けた子どもの育ちを見据えた保育(生きる力の基礎づくり)</p> <p>① 児童福祉施設を認識しながら、生活体験に基づく教育を保育の中に取り入れる</p> <p>・情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々安心して生活を送る。</p> <p>② 「保育園での教育とは」についての職員研修</p> <p>★浜松市における情報収集及び方向性を考える</p> <p>★認定こども園に向けての計画づくり。</p> <p>① 免許更新計画</p> <p>② 施設整備</p> | <p>平成26年度は認定こども園について決まっていなかったことが多く、市の方からも情報が入ってこない状況であった。</p> |
| <p>・保護者への積極的な子育て支援</p> | <p>・保護者への支援、保護者との連携を強化する。</p> <p>・地域への子育て支援メニューを充実する</p> <p>・保護者も保育に参加し体験することにより、保育園への理解と保育内容の理解を深める。</p> | <p>★魅力ある保育園づくり</p> <p>地域の子ども・子育て支援の充実</p> <p>① 待機児を持つ保護者の子育て支援</p> <p>サークルを立ち上げ保護者の悩みの共有・支援</p> <p>② 親子ひろばの充実</p> <p>③ 保育参加の呼びかけ</p> <p>親子ひろばのお母さんの保育体験と子ども理解</p> <p>・保育参加を通して、子どもが何を経験し、大人のかかわりでどのような成長をするのかを感じてもらう。</p> <p>・保育者の子どもの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう</p> <p>④ 親育ちを考える。</p> <p>保育園の持っている専門性を利用した子育てアドバイスの実施</p> <p>・社会情勢・利用者状況に合わせた保育園運営</p> <p>★地域に保育園保育の情報発信をする</p> <p>① 保育内容が見える保育園</p> <p>・「伝えよう保育内容」5W1Hを使って、保育のプロセスを伝える。</p> <p>① 子育てボランティアの活用</p> <p>・親子広場での育児相談</p> <p>★地域ボランティア、中高生の保育体験、実習生の育成と地域ボランティアの活用</p> | <p>・地域の子育て支援として待機児童を持つ保護者の不安感を少しでも和らげればよいのではないかと市役所の状況、園での対応などを交えながら来園者に話を伝え状況を説明をした。</p> <p>・若い保育士の中には子どもの様子を保護者にうまく伝えることができず保護者から不満の声が聴かれたこともあり、子どもの姿のとらえ方をどうとらえていくか方法・記録のとり方を考え直すことにした。</p> |
| <p>・保育環境の整備</p> | <p>・子どもたちの安全と衛生的な環境を確保する。</p> <p>災害対策、日々の保育事故、食事や衛生管理等。</p> <p>・修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。</p> <p>危機管理体制の確立。</p> <p>・増築計画を検討</p> | <p>★非常災害時に向けての防災機器の充実</p> <p>① 非常に対しての行動</p> <p>マニュアルの周知徹底</p> <p>② 自己チェック・ヒヤリハット研修</p> <p>③ 乳幼児救急法研修、感染症研修</p> <p>★職員の危機管理研修</p> <p>★施設整備の実施</p> <p>① こども園に向けての施設整備</p> | <p>・感染症・食中毒などの衛生管理について抜き打ち的に食品検査を実施。</p> <p>(・ふき取り「盛り付け台・冷凍冷蔵庫取手・搬入口取手・蛇口レバー」検査結果は基準範囲内</p> <p>・職員の中にはリスクをつかみきれない者も多く、一つ一つ丁寧に指導が必要と感じる。</p> |

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|-------------------------|--|---|---|
| <p>・働きやすい環境づくり、職員育成</p> | <p>・倫理性、組織性、専門性を持つ職員の育成を行う。</p> <p>・新たな研修計画の策定。</p> <p>パート職員も含めたOJTの強化、プリセプター方式による新人研修</p> <p>・自ら学ぶ姿勢を支援する</p> <p>・個々の職員のキャリアアップを目標にした人事交流を行う。</p> <p>・積極的な新規採用活動の実施</p> | <p>★最低基準に合った人事配置</p> <p>★「選ばれる保育園」をめざして人材育成をする</p> <p>① 職員が自己発揮できる職場づくり</p> <p>② 園内研修の充実</p> <p>③ OJT・プリセクターの計画表作成</p> <p>④ 経験年数・年長者による新人教育(職務内容の指導・職務に対する姿勢とアドバイス)</p> <p>⑤ 職務の記録の取り方</p> <p>⑥ 保育士としての技術、実技を学ぶ</p> <p>★自己評価体制づくり</p> <p>① 自己評価の研修参加</p> <p>② 保育の自己評価をする</p> <p>個人目標(自己研鑽目標)の設定・・・自己評価</p> <p>★職歴、経験年数に応じた職員研修</p> <p>① 園外研修参加</p> <p>② 新規採用研修</p> <p>・・・新規採用者と1・2年目保育士実務研修</p> | <p>保育園として</p> <p>・職員研修プログラム体系づくりを実施</p> <p>人で不足と時間的ゆとりがないため、新年度始まってからの実施が妥当といった反省が出る</p> <p>職員研修</p> <p>① 新規採用研修</p> <p>② 全職員共有研修</p> <p>・危機管理研修</p> <p>・コンプライアンス研修</p> <p>・園内研修</p> <p>・防災研修</p> <p>・エピソード研修</p> <p>・感染症研修</p> <p>③ 中堅研修(法人研)</p> <p>④ 外部研修</p> <p>※新規採用研修の研修計画は実施</p> |
| <p>・経営の把握と無駄の排除</p> | <p>・経営状況の適切な把握と中長期事業計画の策定。</p> <p>(人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理)</p> <p>・管理部門は常に現在の経営状況を把握し、随時職員にも伝える。</p> <p>・適正な経営を確保するために、無駄を排除する。</p> | <p>★中長期計画の策定をする。</p> <p>⑧ 中長期計画策定委員会の設定する</p> <p>職員全員で考え策定する</p> <p>★責任者は運営状況を丁寧に説明する</p> <p>★定員増による収入と支出のバランスを考える</p> <p>① 節電・節水対策</p> <p>② 漏水等の確認</p> | <p>・施設備品の購入時には、保育園の資金状況を説明するようにしている。</p> <p>・認定こども園に向けて園の取り組み説明を実施。しかし十分に理解しているとまでいかないため、浜松市が実施する職員向けの研修会に参加をさせたが、事務的内容だった。</p> <p>・公定価格決定後、今後こども園に向けての知り得た情報は適時に職員に伝えたが理解できているかどうかは疑問</p> |

| 法人の基本方針 | 概要 | 内容 | 報告 |
|--------------|--|---|---|
| タイムリーな情報発信 | <p>・常に利用者、地域社会に情報を発信する（ホームページ、お便り、その他）</p> <p>・日頃の実践発表を保護者に伝える機会を持ち、保護者とともに保育を進める。保護者向けの発表会やホームページ上にブログによる情報発信等。</p> <p>・職員の末端に至るまで、必要な情報はタイムリーに正しく流す（月次決算、重要決定事項）</p> | <p>★魅力ある保育園づくり</p> <p>① 保育園の特色を出す保育</p> <p>★地域・利用者に向けた保育内容が見える保育園</p> <p>① 保育のプロセスを伝える 園の考えや保育者の思いを伝える 保育の様子をよりイメージしやすく伝える ・ボード・クラス便り・行事・保育の取り組み発表・園内掲示、</p> <p>② 保育の記録の取り方 エピソード記録をとり保護者に伝える。（発達過程の中で子どもがどのようなことを経験し、保育者がそれをどう働きかけ、子どもがどのように成長していくか）</p> <p>③ 保護者・親子ひろばの保育参加を実施 保育者の子どもの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう</p> <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいように提示する。</p> <p>★責任者は運営状況を丁寧に説明する</p> | <p>・業者によるホームページを立ち上げることにより、保育園での子どもの様子や情報がより明確に伝わりやすくなった</p> <p>・</p> |
| 環境を守る取り組み | <p>・保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする。 ものを大切に。 動植物を大切に。</p> | <p>★社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <p>① 節電対策 グリーンカーテンの設置</p> <p>② ゴミの省力化 園児と一緒に堆肥づくり 職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</p> <p>③ 園児たちに資源の大切さを知らせる</p> <p>④ 漏水等の確認</p> | <p>・グリーンカーテンにゴーヤときゅうり栽培に子どもと取り組む。ゴーヤもきゅうりも数多くなり、ゴーヤは保護者に。きゅうりは糠づけにして給食時に子どもたちに提供。熱中症予防に役立てる。</p> <p>・園児と一緒に堆肥づくりは地域人たちに呼びかけているが、お手伝いをお願いできる人がいないため、職員と子どもだけではうまくいかない。</p> |
| 新しい地域貢献活動の実践 | <p>「経営協きずな基金」に参加する。 保育に関した地域貢献活動に参加する</p> | <p>★地域活動支援強化</p> <p>① 一時預かり事業の強化 母子家庭・父子家庭の預かり保育 養育者の精神障害による子育て不安の支援</p> <p>② 待機児童を持つ保護者支援・・・タッキークラブ</p> <p>③ 地域防災訓練に参加・・・9/13</p> <p>④ 地域ボランティアの活用</p> <p>⑤ 保育園行事への参加呼びかけ 流しソーマン・夏祭り・学童交流</p> | <p>・地域貢献を前提とした待機児童を持つ保護者または、今後保育園を利用しようとする保護者に情報提供ができる場として、タッキークラブを開設した。入園申し込み時には月30人程度の保護者が来園していた。</p> |

苦情解決として

※ 平成26年度は 保育園対して苦情・第3者委員の報告はありませんでした。